

＜今日の説教のポイント イザヤ書7章10～17節＞

①**ぽっと出の救い主ではない、確かな根拠を持つ救い主イエス様！**

新約聖書は、「主が預言者を通して言われていたことが実現した」出来事としてイエス様の誕生を記しています（マタイ福音書1：22-23）。その預言者の言葉として引用されているのが今日の箇所です（7:14）。そこにはどのようなことが記されているのでしょうか？ その内容を見て行くときに、神様がイエス様の誕生に込めて下さった恵みの意味が分かってくるはずです。見て行きましょう。

②**うろたえやすい私たち。その私たちを励まして下さる神様！**

イザヤが預言した時の状況は、イスラエルが回りの国から攻撃を受けてどうなってしまうか分からない状況でした。そのために「**王の心も民の心も、森の木々が風に揺れ動くように動揺した**」（イザヤ7:2）とあります。なにか思いがけないことが起こると、すぐに不安になって慌てふためく私たち自身の姿を見透かされているような気がします。それに対して神様が言われたのです、「**落ち着いて、静かにしていなさい。恐れることはない**」（イザヤ7:4）。イエス様が「**明日のことまで思い悩むな**」（マタイ6:34）と同様のことを教えられたことを思い出します。不安に陥りやすい私たちのために、「**私があなただを守り支える**」と神様が励まして下さったのです。イエス様の到来はこの神様と関係していることを知らされるのです。

③**神様を信じられるために、その神様が与えて下さったイエス様！**

「**私は求めない。主を試すようなことはしない**」（イザヤ7:12）。一見、信仰深そうなアハズ王の言葉です。しかし、実際はそうではなく、何を言われようと、主の示しに反する道を行こうと決めているから出た言葉でした。それに対してイザヤは、「**どうして神様にもどかしい思いをさせる（疲れさせる）のか**」（13）と語り、そして、「**私たちの主が御自ら、あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ**」（14）と告げたのです。マタイはこの言葉をイエス様の誕生の出来事にあてはめたのです！ 聖書を真剣に学んで行くなら、「このイエス様を信じることに賭けてみよう」という思いに導かれるはずです。損することのない賭けです（パスカル）。